

進路だより



2024年9月30日(月)
福島県立あさか開成高等学校
進路指導部 第5号

「やるべきことをやる」 進路指導部長より

前期期末考査が終わり、3年生はいよいよ入試本番が近づいてきました。受験生にとってこれからが追い込みの時期です。最新の受験情報や入試スケジュールなどを確認し、残された時間を有効に活用して、学習を進めて下さい。

2年生は高校生活折り返し地点が目前になり、3年生になるまであと半年ほどとなりました。受験に向けて好スタートを切るためには、今から着実に学習を積み重ねることが大切です。気持ちを引き締めて、有意義に過ごしましょう。また、進路情報誌やインターネットなどを活用して、自分の進路に関する情報を調べてみましょう。進路がある程度決定しているのであれば、大学へ赴いて情報を収集しましょう。それらを有効活用し、ぜひ進路選択の参考にしてください。

1年生は、将来の夢や進路希望が決まらないと悩んでいる人も多いでしょう。まずは、しっかりした学習習慣を身に付けましょう。「予習→授業→復習」の学習サイクルをうまく定着することが大切です。

今、自分のためにできることを、全力で取り組んで下さい。

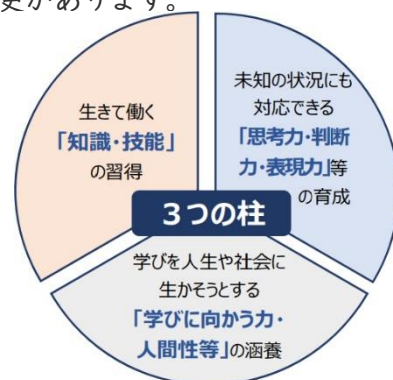
2025 新課程入試を知る

本校においては、9月3日(火)の放課後に、3年生の大学および国公立短期大学への進学希望者を対象に「大学入学共通テスト出願説明会」を実施しました。その後、受験料の振り込みも含めて必要な書類への記入を済ませて9月13日(金)までに全員が担任への提出を完了しました。3年生にとってははいよいよ決戦の時が近づいてきているという緊張感を感じている生徒も多かったようです。1・2年生もこの機会に、入試制度への理解を深め、進路実現のため早めに準備・対策を進めて行きましょう。

1. 何が変わった？

2022年4月高校1年生(現3年生)から新学習指導要領がスタートしました。新課程に対応した2025年度入試では、大学入学共通テストの教科・科目の再編など、大掛かりな変更があります。

今の日本社会は、グローバル化の進展や技術革新、生産年齢人口の急減など目まぐるしく変化しており、先を見通すことが難しい時代(VUCA)になっています。予測困難な社会で必要となる、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動できる「生きる力」を身につけてほしい。こうした思いを反映し、新学習指導要領では「知識・技能」だけでなく、「思考力、判断力、表現力」・「学びに向かう力・人間性等」＝(主体性・多様性・協働性)の三つの柱をバランスよく育むことをめざしています。



アドバイス

本校においては、学校推薦型・総合型選抜で受験する生徒が大部分を占めています。その出願の際に、上記3つの柱について、高校生活での成果を志願理由書や推薦書に記載することを求めてくる大学・短大等がほとんどです。以上のことから、普段の生活でこの3つの柱を意識して学校生活を送ることが重要です。高い評定をキープすることはもちろんですが、具体的には積極的に資格取得に励んだり、ボランティア活動やプチ国際理解講座などに参加した時には、その感想や学んだことを記録したりしておく、出願時や受験での面接に必ず生きてきます。ぜひ今から実行してみてください。

2. 共通テストはどう変わる？

2025年1月に実施される共通テストでは、新教科「情報」を加えた7教科21科目へとスリム化・再編されます。特に「地理歴史」「公民」では出題科目が大きく再編されるほか、数学②では「数学Ⅱ、数学B、数学C」の1科目となるほか、試験時間が延長されます。国語では試験時間延長のほか、問題構成・配点の変更されます。国立大では共通テストで6教科8科目を必須とする大学が一般的です。対して公立大では3～4教科の少数教科で受験可能などもあります。また、ひとくちに6教科8科目といっても文系学部と理系学部とでは異なります。文系学部は、外国語、数学2科目、国語、新教科「情報」に加えて、基礎が付いた理科と、地歴公民から2科目で合計8科目です。一方、理系学部は、外国語から情報までは文系学部と同じで、理科2科目と地歴公民から1科目です。理科は基礎が付かない4科目から選択するよう求める大学が多くなっています。教育学部や文理融合型の学部などでは、この文系パターン、理系パターンのどちらでも受験できるようになっているケースもみられます。

教科	出題科目	試験時間	配点
地理 歴史	「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「地理総合/歴史総合/公共」* <small>*いずれか2科目の内容を選択解答</small>	6科目から 最大2科目 選択 1科目60分 2科目130分 (解答時間120分)	1科目 100点
	「公民、倫理」 「公民、政治・経済」		
公民		公民2科目の組み合わせ、「地理総合/歴史総合/公共」で選択した科目と同一名称を含む科目の組み合わせ不可	
国語	「国語」 近代以降の文章に1問追加。近代以降の文章3問（110点）、古文1問（45点）、漢文1問（45点）で構成	90分	200点
外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	英語リーディング、 その他外国語 80分 英語リスニング 60分 (解答時間30分)	200点 <small>※英語はリーディング100点、リスニング100点</small>
		1科目選択 英語は別時間帯でリスニング試験を実施	

教科	出題科目	試験時間	配点
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」* <small>*いずれか2科目の内容を選択解答</small>	5科目から 最大2科目 選択	1科目60分 2科目130分 (解答時間120分)
	「物理」		
	「化学」 「生物」 「地学」		
① 数学	「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅰ」	1科目選択	70分 100点
	② 「数学Ⅱ、数学B、数学C」* <small>*数学B・数学Cについては、各2項目出題のうち3項目を選択解答</small>		70分 100点
情報	「情報Ⅰ」 新設		60分 100点

3. 私立大学の入試は？

私立大の一般選抜には、大学独自の試験を課す「一般方式」と、共通テストの成績を利用する「共通テスト利用方式」があります。一般方式でも共通テスト利用方式も多くの大学が2～3教科としています。課される教科・科目は文系学部、理系学部によって異なりますが、国公立大の試験の教科・科目を参考に準備すればよいでしょう。また、私立大は複数の入試方式を設定している大学が多くみられるのも特徴です。中には教科数を絞った方式などを設置する大学もありますが、募集人員は各方式均等ではなく、主流の3教科型入試の募集人員が多くなっているケースが多くみられます。安易に受験科目を絞るのではなく、バランスよく学力をつけるような学習を心がけましょう。

アドバイス

まずは志望する大学・短大等の受験科目をしっかりと把握することが重要です。早い段階で志望する学校の受験科目を調べてみましょう。これから履修登録の変更期間もあるので、大幅に進路希望が変わった生徒はこの機会に担任の先生に相談してください。ただし、志望校は直前まで決まらなかったり、変更したりする生徒もいます。自分の進路の可能性を狭めないような受験勉強を進めましょう。